

文部科学省「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた緊急対策等について（通知）」を公表

.....◆◇

文部科学省は10月17日、「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた緊急対策等について（通知）」を公表しました。

昨年度、不登校の児童・生徒数や、いじめの認知件数が過去最多を更新したことを踏まえ、3月に策定された不登校対策「COCOLOプラン」を前倒しで実施すると説明しました。

学校内外で支援を受けられていない児童・生徒がオンラインで学べるよう、教育支援センターのICT環境を整備するなど、全ての不登校の児童・生徒の学びの場の確保を目指しています。

また、いじめの緊急対策として、いじめの重大事態化を防ぐための早期発見・早期対応を強化するとしています。

具体的には、アプリなどによる心の健康観察の導入促進や、一人1台端末を活用した、SOS相談窓口の集約・周知などの対応です。

今年10月に公表された、令和4年度分の調査結果では、インターネット上のいじめが、約2万4,000件（前年度比2,000件増）に上りました。

SNSなどのいじめは、外部から見えにくく、匿名性が高い性質を持つため、学校がいじめを認知しきれない可能性があります。

そのため、教師が児童・生徒の書き込みを確認できる設定にするなど、安全かつ効果的に端末を活用できるようにすることが重要だと説明しています。

文部科学省は、各地域などでの現状の分析を行い、早期発見・早期対応できるよう本通知の内容を踏まえ、各地方自治体などでの取り組みを求めています。

▼令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた緊急対策等について（通知）

https://www.mext.go.jp/content/20231017-mxt_jidou02-000032315_a.pdf

◆◇ トピックス（2）.....

文部科学省「令和7年度以降の全国学力・学習状況調査（悉皆調査）のCBTでの実施について（素案）」を公表

.....◆◇

文部科学省は10月27日、「令和7年度以降の全国学力・学習状況調査（悉皆調査）のCBTでの実施について（素案）」を公表しました。

令和7年度の全国学力・学習状況調査では、中学校の理科のみ、一人1台端末を活用したCBTで実施する方針です。

中学校の理科は、ネットワークの負荷軽減のために、学校ごとに4日間に分散して実施します。

なお、小学校の国語・算数・理科と、中学校の国語・数学は、一斉に筆記形式で実施されます。

CBT活用で、解答がビッグデータとして蓄積しやすくなります。自治体の傾向や変化がより細かく分かるようになり、授業改善や教員研修の充実に生かされます。

さらに、多様な方法での出題や解答が可能となります。マルチメディア（動画・音声など）や、さまざまなツール（表計算機能など）を利用した出題や解答の方式により、児童・生徒がICTを活用した授業で身に付けた力を、より多面的に測定できます。

全国学力・学習状況調査の結果の提供については、IRTに基づいて算出されたスコアをベースに行うとしています。

IRTとは、児童・生徒の正答や誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、学力によるのかを区別して分析し、学力スコアを推定する統計理論です。異なる問題からなるテスト結果や、異なる集団で得られたテスト結果を互いに比較できるメリットがあります。

文部科学省は、令和8年度以降の学力調査で、中学校のCBT実施教科を可能な限り増やす方針です。

小学校では、経年調査（PBT・CBT併用）の解答状況についての分析結果や、中学校での実施状況などを踏まえてCBTの導入を検討する予定です。

▼令和7年度以降の全国学力・学習状況調査（悉皆調査）のCBTでの実施について（素案）
https://www.mext.go.jp/content/20231027-mxt_chousa02-000032443_2.pdf

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■
□【2】情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～
■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2023年11月7日調査）
☆★ （1）紛失・置き忘れ：9件 （2）不正アクセス：7件 （3）誤公開：3件

(4) 誤送信：3件 (5) 誤配布：2件 (6) 誤廃棄：1件 (7) 盗難：1件
☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2023年10月6日～2023年11月6日に合計26件の事故が発生しました。
情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、
漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

(1) 紛失・置き忘れ

大阪府 2023年10月6日 市立小学校 書類 80件
広島県 2023年10月13日 県立高等学校 書類 10,014件
兵庫県 2023年10月26日 市立幼稚園 デジタルカメラ SDカード 約17件
岩手県 2023年10月30日 小学校 書類 1件
埼玉県 2023年10月31日 県立高等学校 書類 1件
埼玉県 2023年10月31日 県立高等学校 書類 1件
神奈川県 2023年11月2日 県立中学校 書類 32件
広島県 2023年11月2日 県立高等学校 書類 26件
東京都 2023年11月6日 都立高等学校 書類 330件

(2) 不正アクセス

千葉県 2023年10月19日 民間 インターネットサービス・アプリ 696件
高知県 2023年10月20日 民間 インターネットサービス・アプリ 6,000件
埼玉県 2023年10月20日 民間 インターネットサービス・アプリ 1,936件
三重県 2023年10月24日 民間 インターネットサービス・アプリ 不明
東京都 2023年10月24日 国立大学 システム・サーバー 3,229件
茨城県 2023年10月27日 民間 インターネットサービス・アプリ 3,083件
宮崎県 2023年10月30日 民間 インターネットサービス・アプリ 76件

(3) 誤公開

大阪府 2023年10月6日 市立小学校 インターネットサービス・アプリ 31件
愛知県 2023年10月16日 市立中学校 インターネットサービス・アプリ 214件
京都府 2023年10月20日 私立大学 インターネットサービス・アプリ 134件

(4) 誤送信

東京都 2023年10月10日 区立教育センター 電子メール 28件
京都府 2023年10月18日 府立中学校 電子メール 87件
埼玉県 2023年10月31日 県立高等学校 電子メール 1件

(5) 誤配布

大阪府 2023年10月11日 市立中学校 書類 69件
大阪府 2023年10月20日 府立高等学校 書類 2件

(6) 誤廃棄

東京都 2023年10月10日 区立その他 書類 1,307件

(7) 盗難

島根県 2023年10月11日 県立大学 パソコン 延べ140件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しています。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

大阪市ホームページ/Security NEXT/ 広島県ホームページ/Yahoo!ニュース/NHK NEWS WEB/埼玉県ホームページ/
神奈川県公式ウェブサイト/中国新聞デジタル/東京都教育委員会ホームページ/千葉県ホームページ/
ニュースサイト「毎日新聞」/三重県ウェブサイト/茨城新聞クロスアイ/宮崎県ホームページ/
豊田市ホームページ/杉並区公式ホームページ/読売新聞オンライン/大阪府ホームページ など



□【3】 学校ICT・セキュリティコラム



◆ 令和の授業改革 ～ICTの活用で授業が変わる～② ◆

小田原市立富水小学校 中田 稔真

【国語科の実践】

○慣用句 小4・Google スライド【Canvaでも可】

国語辞典を使って慣用句の意味を調べ、例文を書く内容で、単元のまとめとして

「クラスの慣用句辞典をつくろう」という学習活動を設けました。

1つのGoogle スライドにクラスの数分のスライドを用意し、

自分で調べた慣用句の意味と例文を入力していきます。

ノートや画用紙にまとめる活動だと、文字を書いたり、

関連するイラストを描いたりすることに課題がある子がいます。

タイピングや音声で文字を入力したり、インターネットで検索したイラストを

入れたりすることで、上のような課題も軽減され、見た目も十分華やかになります。

○お礼の手紙を書こう（小4） 卒業文集づくり（小6）

Google ドキュメント【Canvaでも可】

校外学習や授業で交流した学校に向けてお礼の手紙を書く内容や、

6年生の卒業文集を書くことの実践です。

国語の「書く」内容の授業では、ICTの活用は欠かせません。

これまでは、ノートやプリントなどに鉛筆で下書きをして、

教師のチェックを受けて再び出して…といった流れでした。

何度も書いたり消したりすることで、用紙が破れてしまったり、

書くことが難しい子のモチベーションが下がったりすることもあります。

ICTを活用することで、子供が書いた文章に直接書き込んだり、直したりできるため、

何度もチェックする教師の負担が減ります。

従来は、子供が書いたものを持って教師のもとへ並ぶという行為をしていましたが、

ネームプレートを貼るなどしておくことで、子供の待ち時間軽減にもつながり、

必要な学習をする時間が確保できます。

【算数科の実践】

垂直・平行と四角形 小4・端末カメラ

「図形の作図」においては、ICTの力が発揮されます。

垂直・平行と四角形では、ペア学習の形態をとり、

机上で作図している様子を動画として記録しました。

それをテレビに映し、必要に応じて映像を止めたり戻したりして、

どのように作図したのかを説明する学習を行いました。

黒板用の三角定規などを使って作図する方法もありますが、

子供が作図しながら説明することは、慣れていないと難しいと思います。

校内研究で授業をした際に、黒板に作図したものが残らないという課題が出てきましたが、

データとして Google Classroom など他の子に共有することで

作図方法を映像としてふりかえることができます。

◆ 執筆者プロフィール ◆

中田 稔真

小田原市立富水小学校 ICT活用推進チーム 校内研究副主任

来冬（2024年）に初任者向けの共同執筆本を出版

▽ 学校ICTに精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町1-30-5 浜松町スクエア2階（株式会社JMC内）

<https://school-security.jp/>

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。
メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。
<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。
<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>